

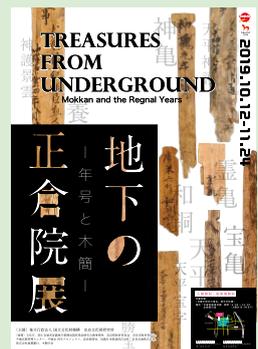
平城宮跡資料館 秋期特別展 「地下の正倉院展 一年号と木簡」

平城宮跡資料館では、秋期特別展として恒例の「地下の正倉院展」を開催します。

本年は5月1日に天皇陛下が即位され、それにともない新しい元号「令和」が施行されました。典拠が漢籍ではなく、『万葉集』であったことも大きな話題となりました。そこで今年度は、年号が記された木簡をご覧いただく展示を企画しました。

年号は、西暦701年の「大宝」から「令和」まで、途切れることなく連続して使われており、奈良時代は年号の本格的な使用が始まって間もない時代といえます。年号の使用は、中国の思想や制度にもとづくもので、当時の改元は、めでたい亀や雲といった具体的なモノやコトを契機として、天皇の代始め以外でもおこなわれました。

木簡を通じて、奈良時代の年号に親しんでいただき、年号を書き記した当時の人々に思いをめぐらせていただければ幸いです。（都城発掘調査部 桑田 訓也/企画調整部 藤田 友香里）



会 期：10月12日(土)～11月24日(日) 月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日)

I期：10/12(土)～10/27(日) II期：10/29(火)～11/10(日) III期：11/12(火)～11/24(日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ギャラリートーク I期：10/18(金)、II期：11/1(金)、III期：11/15(金) 各日14：30～

ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/ お問い合わせ：☎0742-30-6753(連携推進課)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2019年9月